

生物農薬

アカメ

®は登録商標

アカメガシワクダアザミウマ剤

難防除のヒラズハナアザミウマ等の アザミウマ類に!!

アカメ®は、
アザミウマ類の天敵である
アカメガシワクダアザミウマを
製剤化した製品です。



アカメガシワクダアザミウマ
(左成虫:右幼虫)



イチゴ花上の
アカメガシワクダアザミウマ

適用害虫の範囲及び使用方法

*アカメガシワクダアザミウマを含む農薬の総使用回数

作物名	適用病虫害名	10アール当り 使用量	使用時期	使用方法	総使用回数*
野菜類 (施設栽培)	アザミウマ類	10,000~ 15,000頭/10a	発生初期	放飼	—

※本内容は平成29年12月1日付けの登録に基づいています。

生物農薬 **アカメ** (アカメガシワクダアザミウマ)とは?



アカメガシワクダアザミウマは難防除害虫であるアザミウマ類を捕食する天敵昆虫です。日本に古くからいる土着天敵であり、比較的低温(5℃以上)でも活動できるため、冬季の施設栽培でも利用可能です。

有効成分

商 品 名	アカメ®
一 般 名	アカメガシワクダアザミウマ
学 名	<i>Haplothrips brevitubus</i> (クダアザミウマ科)
有 効 成 分	アカメガシワクダアザミウマ 5,000頭/ℓボトル
性 状	黒色羽化成虫
そ の 他 の 成 分	*スジコナマダラメイガ卵、紙束

※アカメの餌、孵化することはありません。



〈紙束60個入〉

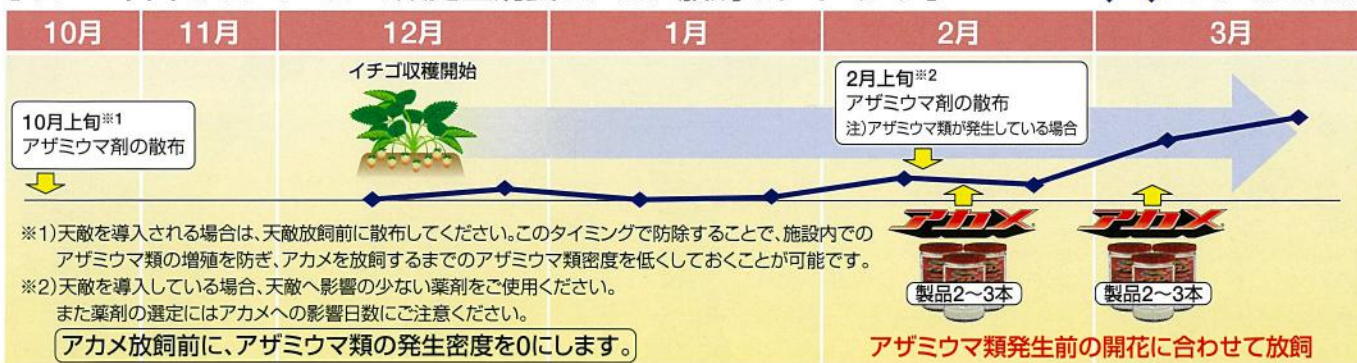


〈アカメガシワクダアザミウマ成虫〉

使用方法ならびに使用例(例:イチゴ)

[イチゴ本圃でのアザミウマ類発生消長とアカメ放飼のタイミング]

◆ アザミウマ類の発生消長



1. アカメ放飼方法

容器(5,000頭入)の中には、60個の紙束が入っています。登録薬量に従って、圃場全体に紙束ごと均一に設置してください。
 (注:紙束を放置後、ボトルの底にアカメが残る場合がありますので、有効に活用するため均一に放飼してください。)

2. アカメの放飼量

イチゴの場合は、放飼量は10,000~15,000頭/10a(製品2~3本)を基本とし、開花期の2月中旬~3月上旬に初回放飼、2~3週間後に追加放飼するようにしてください。



(写真上:イチゴ本圃での設置の様子)

使用に際しては下記の条件を厳守してください

1. ハウスには必ずネットを展張する

アカメはアザミウマ類成虫は捕食しません。アザミウマ類成虫が大量に施設内に飛びこんできた場合、防除効果が劣ることがありますので、必ず1mm以下のネットを展張してください。

2. アザミウマ類発生密度0での放飼

アザミウマ類が発生している条件でのアカメ放飼は、防除効果が劣る可能性があります。アザミウマ類が発生する前から、放飼してください。

3. 開花時期に合わせた放飼

アカメは花粉によって増殖可能です。作物の開花に合わせて、放飼してください。